

No.167
平成30年2月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町
不降沼345
電話0248(62)2110
印刷 (南)永山印刷

祝 成人おめでとう



新成人 決意新たに

大人としての自覚を新たにし、人生の大きな節目を迎えられた新成人の皆さんの門出を祝う「成人式」が1月7日(日)公民館において開催されました。
(写真は「成人式運営委員会」の皆さん)

目次

第10回12月定例議会	2ページ
審議の結果	2・3ページ
一般質問	4～10ページ
各常任委員会所管事務調査	11ページ
町民の声	12ページ



平成28年10月に開催された「子ども議会」の一コマ



くまくらしょうま
熊倉正磨さん

子供たちが活躍できる場の提供を

鏡石町議会 熊倉正磨

今回、鏡石町議会へ発言の機会を頂いたので、漠然と更には町制に明るくない私ですが、一言申し上げます。
私は、子供たちが活躍する場をたくさん提供してほしいと願っています。子供たちが熱中するもの、得意とするものは様々です。それが今後の人生にどれだけ役立つのかは未知数ですが、熱中することは興味を持ち、取り組むことは、今後、必ず役立つと思っております。更に、多くの人たちの前で成果のお披露目、ほめられる機会があれば、なお良いと思っています。それは、子供たちに喜びと、自信を与えたいと思うのです。子供たちが活気にあふれ、いきいきとしている姿は、大人にも必ず良い影響を与え、両親、祖父母、親戚、縁者と拡がり、やがて、町にも大きな影響を与える可能性があります。

議会への発言として適したもののなか分かりますが、私が思うところを述べさせて頂きました。まずは、手始めに、今回の私のように鏡石町議会へ、ここで述べる機会を子供たちに与えてみるのはいかがでしょうか。
そして、子供を様々なことに関わらせることは、町の特色となり、町の活性化にもつながるのではないかと考えています。新たに何かを始めたいもの、今あるものに子供部門を設けてもいいかと思えます。あやめ祭りの写真コンテストにモデルも撮影者ものも楽しそうです。今のは、ただの思い付きですが、様々な場面に子供が関わり活躍する町になったら素敵だと思います。

前号の町民の声で、鳥見山野球場のグラウンド周囲のフェンスの支柱からの金網が落下している箇所があり、非常に危険な状態であること、また、グラウンドの状態も非常に悪いなど現状を改善してほしい旨の要望が寄せられたため、総務文教常任委員会では、12月14日(木)所管事務調査で議題として取り上げ、鳥見山野球場の状況を現地調査しました。
議会として、早期改修について要望して参ります。



総務文教常任委員会調査・フェンス金網落下状況

「町民の声」にこたえて

編集後記

昨年、政治的に様々な不祥事がありました。「モリ・カケ」問題では、毎日総理大臣夫婦が問題視され、国会議員は不倫スキャンダル、地方議員も様々な不祥事がありました。
そんな中で行われた解散総選挙では、自民党「危うし」と言われながら、毎日マスコミに取上げられていた小池東京都知事が「排除」と言う一言で、野党は惨敗、自民党の大勝で終わり、それ以降小池知事はテレビには出なくなり、言ひます。出たのは「打たれる」と思っています。
今年、そんな事を国会で議論しないで国政・外交を本腰を入れて議論してもらいたいと思えます。我々も町民の負託にこたえ、議員として恥じない行動をとっていききたいと思えます。

発行責任者 渡辺 定己
編集長 廣報編集委員会
委員長 小林 政次
副委員長 木原 秀雄
委員 古川 文雄
委員 菊地 文雄
委員 長田 幸一
委員 畑田 幸一

第10回12月定例会議案（報告等含む）15件

（報告1件、新条例案1件、条例改正2件、補正予算6件、陳情1件、議員発議1件、その他3件）

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
報告第34号	専決処分した事件の承認について 平成29年度一般会計補正予算（第3号） （第48回衆議院議員総選挙に係る費用7,120千円を増額した補正予算を専決処分したので報告し承認を求めるもの）	議案第161号	平成29年度一般会計補正予算（第4号） （岡ノ内住宅団地訴訟事件の和解に伴う費用25,616千円の増、認定こども園整備計画変更に伴う131,378千円の減などによる45,352千円の減額補正）
議案第156号	訴訟の和解について （岡ノ内住宅団地訴訟事件について、これまでの審理を踏まえた和解勧告が裁判所から示され、勧告内容を受け入れ和解するため議会の議決を求めるもの）	議案第162号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 療養給付費、保険基盤安定繰入金の確定による6,549千円の減額補正
議案第157号	公の施設の指定管理者の指定について （町老人福祉センター及び屋内ゲートボール場の指定管理期間満了に伴い新たに指定を行うもの） ・指定管理者となる法人 社会福祉法人 鏡石町社会福祉協議会 ・指定の期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日	議案第163号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 保険料収入見込確定による7,877千円の増額補正
議案第158号 に対する 修正動議	鏡石町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定についてに対する修正動議 （吉田議員より議案第158号に対する一部修正案提出）	議案第164号	平成29年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 介護サービス費の増に伴う113,307千円の増額補正
議案第158号	鏡石町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について （中小企業・小規模企業の振興を総合的に推進していくための基本理念や町の責務等を定めるための条例の制定）	議案第165号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 受益者負担金、使用料の増及び流域下水道維持管理負担金の前年度清算による7,900千円の増額補正
議案第159号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について （根拠法となっている企業立地促進法の一部改正により、地域未来投資促進法へ変更されたため、表題及び文言の一部を改正するもの）	議案第166号	平成29年度上水道事業会計補正予算（第2号） 浄水場及び取水施設修繕、給水管漏水修繕の増に伴う700千円の増額補正
議案第160号	鏡石町税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について （根拠法となっている企業立地促進法の一部改正により、地域未来投資促進法へ変更されたため、表題及び文言の一部を改正するもの）	議案第167号	鏡石まちの駅厨房備品購入契約の締結について 契約金額 7,322,400円 契約相手 ホザキ東北株式会社 白河営業所
		陳情第14号	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択についての陳情 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に調印することを求める意見書の提出を求める陳情書



12月定例会

第10回町議会定例会は12月11日（月）から15日（金）までの5日間開催し、訴訟の和解について、鏡石まちの駅厨房備品購入契約の締結について、新条例案1件など15の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は12月12日（火）・13日（水）の2日間行われ、6名の議員が登壇。多岐に渡り町政を質しました。

今回の定例会では、岡ノ内住宅団地訴訟事件について、これまでの審理を踏まえた和解勧告が裁判所から示され、勧告内容を受け入れ和解するため議会の議決を求める議案、3月に指定期限満了となる老人福祉センター及び屋内ゲートボール場の指定管理者の指定については、本年4月から3年間引き続き社会福祉法人鏡石町社会福祉協議会を指定する議案、鏡石まちの駅厨房備品購入契約の締結について議会の議決を求める議案について審議し、いずれも可決しました。

一般会計補正予算案では、認定こども園整備計画変更に伴う補助金の減などによる45,352千円の減額補正を可決しました。

また、吉田孝司議員から提出された鏡石町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定については、賛成少数によって否決されました。

審議の結果（第10回12月定例会）

*「○」賛成 「×」反対 「欠」欠席 「-」渡辺定己議長は採決に加わらない

議案・報告等	結果	小林政次	吉田孝司	橋本喜一	古川文雄	菊地洋	長田守弘	畑幸一	井土川好高	大河原正雄	今泉文克	木原秀男	渡辺定己
報告 第34号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第156号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第157号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第158号に対する修正動議	否決	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-
議案 第158号	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-
議案 第159号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第160号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第161号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第162号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第163号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第164号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第165号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第166号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 第167号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情 第14号	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

第10回定例会
全15案件を審議・議決



一般質問

- 町立小中学校教員の労働時間の改善策について
- 消防水利の設置基準等について
- 公共工事費等の設計額積算基準について
- 町長の政治姿勢について

菊地 洋議員

質問

防火水槽が設置されている底地は、全て町有財産なのか私有地がある場合は、賃貸借契約を締結しているのか。

総務課長

公園や集会所などの町有地のほか個人所有の土地にも設置されております。個人所有

質問

東日本大震災以降、人手不足や資材高騰などにより設計単価が引き上げられたが、設計労務単価と実質賃金の乖離が広がっている実態があると思われ。請負業者への実態調査は考えているか。

総務課長

公共工事の積算は、基本的に単価と数量や歩掛などの掛け合わせにより算出したもの

質問

今後のまちづくりと鏡石まちの駅「かんかんてらす」との関連についてどのように考えているのか。

町長

震災からの復旧がほぼ完了したことから「復興と進化」のまちづくり、新時代にふさわしい行政運営と協働のまちづくり、安心安全で快適に暮らすまちづくり、まちの特性を活かした魅力あるまちづ

質問

町長の今後の進退について考えを問う。

町長

引き続き町政の陣頭指揮を執って参りたいと考えております。更に、輝き進化するまちづくりを目指して取り組んで参る所存です。



一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は6人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
5	菊地 洋	○町立小中学校教員の労働時間の改善策について ○消防水利の設置基準等について ○公共工事費等の設計額積算基準について ○町長の政治姿勢について
6	今泉文克	○町民の高齢化率と今後の推移はどのようになっているか ○高齢者医療、福祉、健康対策はどのような計画か ○特別養護老人ホームなどの新增設の計画はあるのか ○町の医療、福祉の総合センター設置の計画はあるのか ○町長の選挙公約の内容と実態をどう総括しているか ○駅東開発の今後の計画を問う。
7	吉田孝司	○昨年の衆議院議員選挙の結果を受け町長は今後の政治活動にどう取り組むのか ○河川災害対策と防災無線の難聴地域解消について問う ○鏡石町における地方行政について問う ○特産品開発について問う
8	畑 幸一	○町の構想と展望について ○行政の課題と方針について ○米作減反廃止に対する見解について ○健康ウォーキングコースの進捗状況について ○姉妹都市の提携の意向について
9	小林政次	○町道の整備について ○旭町、笠石区東町の公園等の整備について ○各地区集会所等のトイレの改修について ○新年度予算について
10	橋本喜一	○高久田・一貫線の進捗、費用対効果はどのようになっているか ○久来石交差点の改善と久来石区内の拡幅は何時頃か ○イノシシの被害対策は ○子ども育成会への中学生の入会をどうするのか ○鳥見山陸上競技場内トラックの張替、北門・南門の改修は

六議員が町政を問う



- 昨年の衆議院議員選挙の結果を受け町長は今後の政治活動にどう取り組むのか
- 河川災害対策と防災無線の難聴地域解消について問う
- 鏡石町における地方行財政について問う
- 特産品開発について問う

吉田孝司議員

総務課長 平成26年度から地方創生事業として「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた事業を実施しており、当町においては、お出かけ支援事業、田んぼアートおもてなし事業、また今年度実施している鏡石まちの駅設置事業に取り組んでおります。

今後、まちづくりや町内活性化に繋がるような事業があれば積極的に取り組んで参りたいと思います。



総務課長 防災行政無線の屋外子局からの放送が聞き取りにくい世帯に対しては、家庭内に設置する個別受信機を貸出しております。また、今年度から屋外受信アンテナ設置工事を行

は、①財源の確保が図られる事業を優先する。②事業の費用対効果や実施後の維持管理経費を含めた総合的検討に基づき判断する。③繰上償還による公債費の圧縮を図る。④受益者負担の原則に基づき、

ふるさと納税の返礼品として「牧場のしずく」「鏡の雫」リンゴ、梨、桃、イチゴについては、大変人気の高い特産品なので、引き続き、PRに努めて参ります。

一般質問

一般質問

- 町民の高齢化率と今後の推移はどのようになっているか
- 高齢者医療、福祉、健康対策はどのような計画か
- 特別養護老人ホームなどの新增設の計画はあるのか
- 町の医療、福祉の総合センター設置の計画はあるのか
- 町長の選挙公約の内容と実態をどう総括しているか
- 駅東開発の今後の計画を問う

今泉文克議員



福祉こども課長 平成29年10月1日現在、65歳以上の人口は3千3百17人で、26.1%となっております。8年後の平成37年には約30%になると推計されます。

健康環境課長 平成27年3月に「鏡石町健康増進計画・食育推進計画」を、また、高齢者の福祉対策については、「鏡石町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる地域社会を実現するため各種施策を行っております。



健康環境課長 町の医療、福祉、健康等の対策はどの様に計画されているか。

福祉こども課長 今年4月現在の県内特別養護老人ホームへの鏡石町民の待機者数は、県の調査によると53名であります。今後の対策としては、現在策定中の第7期介護保険事業計画で検討しているところですが、民間の力を活用しながら、サービ

町長 「駅に降りてみたい、歩いてみたい、住んでみたい」まちづくりを目指し、現在もまちづくりを進めております。7年半の総括としましては、震災からの復興が主な事業にもなりますが、財政の健全化では実質公債費比率が19.6%から10.0%と9.6%改善されました。また、教育面では、中学校の大規模改修、鳥見山公園多目的広場の人口芝改修、福祉面では児童ふれあい交流館、ハッピーイートプログラム事業、観光面では田んぼアート事業の実施、地方創生事業を活用した「かんかんてらす」事業など、概ね

健康環境課長 町の医療、福祉の総合センター施設の建設については、復興まちづくり計画に位置づけられており、今後、具体的に

健康環境課長 高齢化の進行にともない、町の医療、福祉の総合センター施設の重要性を感じるが、早急な設置を考えているのかを問う。

町長 衆議院議員選挙においては、自由民主党を中心とした与党が圧倒的多数の議席を獲得した結果となりました。今後も地元選出議員が与党か野党かに関わらず要望活動を進めて参りたいと思います。

健康環境課長 重要水防区域に定めている阿武隈川を中心に治水施設の整備や避難情報等の適切な発信基準の整備などの対策を行っているところですが、

総務課長 現在の地方債残高は普通会計（一般会計・駅東特会）で50億7,559万円、特別会計（公共下水・農集排特会）で36億3,727万1千円、上水道事業で15億3,061万3千円で合計では、102億4,347万3千円となっております。今年度末の地方債高の見込額は、合計で対前年比1億2,944万2千円増の107億4,300万円になると見込んでおります。

質問

質問

質問

町長 第48回衆議院議員選挙の結果に鑑み、町長して今後の政治活動をいかに取り組むのか。

健康環境課長 河川災害対策、河川管理の在り方に対する町の姿勢を問う。

質問 今年度末における町の負債状況を問う。

質問

質問

質問

町長 まちづくりや町内活性化に資するべき施策はあるか。

健康環境課長 河川管理の在り方については、一級河川に指定されている河川は、原則、国の管理となります。しかし、阿武隈川水系の乙字ヶ滝から上流は、指定区間として国から県に管理委託されているため、本町を流れる河川の管理は県が行っておりますので、県に対して適切な管理をお願いして参ります。

質問 歳出を減らすための施策をどう考えるか。

質問

質問

質問

総務課長 平成26年度から地方創生事業として「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた事業を実施しており、当町においては、お出かけ支援事業、田んぼアートおもてなし事業、また今年度実施している鏡石まちの駅設置事業に取り組んでおります。

健康環境課長 防災行政無線の難聴地域を把握し、難聴地域は解消されたのか。

質問 各種事業の実施にあたっては、①財源の確保が図られる事業を優先する。②事業の費用対効果や実施後の維持管理経費を含めた総合的検討に基づき判断する。③繰上償還による公債費の圧縮を図る。④受益者負担の原則に基づき、

ふるさと納税の返礼品として「牧場のしずく」「鏡の雫」リンゴ、梨、桃、イチゴについては、大変人気の高い特産品なので、引き続き、PRに努めて参ります。

都市建設課長 財源については、道路工事においては国庫補助金の確保が必要であり、社会資本整備総合交付金での対応が非常に厳しい状況にあります。造成工事には、保留地処分金が財源となりますので、計画的な販売に努め、保留地処分金を基金に積み立て、財源確保をしながら工事を進めて行きたいと考えております。



住宅が次々と建築されている
駅東第1土地区画整理事業（第1工区）



- 町道の整備について
- 旭町、笠石区東町の公園等の整備について
- 各地区集会所等のトイレの改修について
- 新年度予算について

小林政次議員

質問 杉林から中学校へと抜ける道路の拡幅工事等は考えているのか。

都市建設課長 駅東土地区画整理事業区域となっており、今後の同事業整備計画により検討して参ります。

質問 一部側溝蓋を設置してない区間がありますが、交通安全や事故防止の観点から判断して参ります。

都市建設課長 一部側溝蓋を設置してない区間がありますが、交通安全や事故防止の観点から判断して参ります。

質問 蒲之沢町地内の側溝へのグレーチング設置は考えているのか。

都市建設課長 現時点では拡幅計画はありません。利用状況を見極めながら、一部拡幅等の手法も含めた調査検討をしております。

質問 蒲之沢線から118号線へ抜ける道路の拡幅等を考えているのか。

都市建設課長 現時点では拡幅計画はありません。利用状況を見極めながら、一部拡幅等の手法も含めた調査検討をしております。

質問 今年度の久来石行方・蓮池西線の改良工事の詳細と完成時期について。

都市建設課長 平成26年度舗装完了区間から和池池までの区間207m、車道幅5.5mの2車線を舗装完了まで施工します。また、工期については、平成30年2月28日までとなっております。



早期完了が待たれる久来石行方・蓮池西線改良事業

質問 旭町、笠石区東町地内等新興住宅近辺への公園の整備の詳細について。

都市建設課長 鏡石駅東第1土地区画整理



街区公園予定地

質問 各地区集会所等のバリアフリー化とトイレの洋式化等の改修実績について。

総務課長 前年度未までに27施設中、11施設がバリアフリー化されています。今後も予算の範囲内で整備して参ります。また、トイレの洋式化については、27施設中18施設が改修済であ

質問 各地区集会所等のバリアフリー化とトイレの洋式化等の改修実績について。

総務課長 前年度未までに27施設中、11施設がバリアフリー化されています。今後も予算の範囲内で整備して参ります。また、トイレの洋式化については、27施設中18施設が改修済であ

一般質問

一般質問



- 町の構想と展望について
- 行政の課題と方針について
- 米作減反廃止に対する見解について
- 健康ウォーキングコースの進捗状況について
- 姉妹都市の提携の意向について

畑 幸一議員

質問 財政健全化と運営の概況について問う。

町長 平成21年度決算では実質公債費比率20.7%、将来負担比率139.4%であったところから平成28年度決算ではそれぞれ10.0%及び27.3%へと改善して参りました。地方交付税が縮小され、臨時財政対策債が拡大するなど地方自治体を取り巻く状況は厳しい傾向にありますが、健全な財政運営に努めて参りたいと考えております。

質問 少子高齢化対策の取り組みについて問う。

総務課長 町では、平成24年度に策定した「第5次総合計画」や平成27年度に策定した地域創生総合ビジョン「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて、取り組んでおります。具体的には、人口増加対策や若い世代の定住を目標として、結婚支援、出産支援、子育て支援、定住支援などの各種事業の取り組みを検討し

質問 環境保全の取り組みについて問う。

健康環境課長 町内の環境美化の推進事業の一環として、町民の協力のもと、4月、6月、8月、10月に年4回の町内一斉環境美化活動を実施しており、快適な生活環境を確保することも、町内の環境美化の推進及び景観の保護を行い、清潔で美しいまちづくりを目指しております。

質問 高齢者・多死社会の認識について問う。

健康環境課長 日本では、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する「2025年」が本格的な多死社会への転換期とされており、介護や医療費など社会保障費が急増する問題が懸念されています。ことから、当町におきましても、各関係機関と連携し、将来の社会形態に即した体制が構築出来るよう、第6次福島県医療計画に沿った

質問 地域への効率的かつ質の高い医療提供体制の構築を推進するとともに、第7次福島県高齢者福祉計画・第6次福島県介護保険事業支援計画に沿った地域包括ケアシステムの構築の推進に努めて参ります。

産業課長 平成30年から生産数量目標が廃止、併せて、これまで10aあたり7,500円交付されていた米の直接支払交付金が廃止されます。鏡石町地域農業再生協議会としても生産数量目標に変わる生産数量の目安を設定し、飼料用米をはじめとした新規需要米の推進はもとより、水田フル活用の取り組みを図って参りたいと考えており、町民の財産である農地の保全と食料の確保、さらに、農業経営の安定のためにも、引き続き、総合的に地域農業の振興に努めて参ります。

質問 健康ウォーキングコースの進捗状況について問う。

質問 健康ウォーキングコースの進捗状況について問う。

健康環境課長 鳥見山公園への設置計画をし3種のコース設定を進めていきましたが、デザイン確定や看板製作までに時間を要したため、予定より遅れておりましたが、11月上旬から看板設置や路面標示の貼り付けなど現場作業を行い、11月24日に全て完了したところです。現在では、ウォーキングコースを自由に活用出来る状況に至っております。

質問 姉妹都市の提携の意向について問う。

町長 現在、友好姉妹都市として、全国あやめサミットへ加盟している全国11市町との交流や、岡山県鏡野町・高知県香南市との旧かがみ友好市町村との交流、また、東日本大震災で人的支援をいただき、その後災害協定を締結している群馬県大泉町、また、スポーツ少年団との交流がきっかけで始まった沖縄県北谷町との友好交流を実施しております。





橋本喜一議員

- 高久田・一貫線の進捗、費用対効果はどうなっているか
- 久来石交差点の改善と久来石区内の拡幅は何時頃か
- イノシシの被害対策は
- 子ども育成会への中学生の入会をどうするのか
- 鳥見山陸上競技場内トラックの張替、北門・南門の改修は

質問

高久田・一貫線のその後の進捗状況に変化はあったのか

地権者からの同意が得られないため、東部環状線への接続を含め、計画ルートを須賀川市と協議を重ねています。

質問

その後の進捗状況はどうなっているのか。また、投資効果がゼロに近いと思うが、現状はどうか。

町長

須賀川市の地権者1名から同意が得られていません。現在の道路を延長することを須賀川市と話し合っています。また、7、8億円の投資をしてきましたが、開通していませんので、ゼロに近い効果であります。

質問

久来石交差点について、国から町への説明と地域住民への説明はあったのか。

都市建設課長

地域住民へは、平成14年より行政区、沿線住民地権者に案内を回覧・郵送にて周知し、

説明会を開催しています。

さらに、各行政区長、町役職員、関係機関の代表者を委員とした「鏡石拡幅事業検討委員会」を、平成18年2月から3回開催し、内容をホームページ等で周知し、地域住民との合意形成を図ってきました。

質問

国から町への説明は、各関係課と打ち合わせをし、施工合意に至っています。

質問

10月11日久来石転作センターで、安全講習会の説明会が開かれた。その際、設計ミス等の意見が出された為、早急に第2回を開催して欲しい。

都市建設課長

国土交通省、町、久来石・笠石区長他23名が出席し開催されました。多くの意見が出され、国も重く受け止めました。今後、改善についての説明会を検討しています。

質問

久来石区内の道路で、南から進入すると、5.9mから4.9mに狭くなる所がある。大型車の交通規制又は改良はできないか。

都市建設課長

路線バス等の利用者もあり、交通規制は状況を確認し、交通安全について検討します。4号拡幅が調査検討されているので、町道と4号線の接続とともに、町道の拡幅も合わせて検討していきます。

質問

イノシシの出没の実態と被害状況は。また、捕獲したイノシシの処分方法、今後の被害対策はどうするのか。

産業課長

平成28年度、久来石地区7件、仁井田地区2件、境地区2件です。

今年度は、久来石地区5件、高久田地区6件、仁井田地区1件です。

被害は、根菜類の被害、土の掘り起し、畦畔の破壊等が確認されています。

処分は、狩猟免許所有者による「止め刺し」を行い、全量回収または、埋設処理します。

しかし、今年度の捕獲実績はありません。今後は、「町鳥獣被害防止計画」を策定し、わなを活用した捕獲をします。

質問

子ども育成会の発足の経緯と趣旨、会員数、主な事業は何か。また、中学生の入会方は。

教育長

子どもたちの組織「子ども会」と、それを育成指導する「育成会」の連絡調整のため発足しました。平成29年の加入者は、929名です。主な事業は、夏の球技大会、廃品回収、花植え、バス旅行等です。中学生の入会対策は、大人、地域、家庭がかかわることだと考えます。

質問

鳥見山陸上競技場内トラック(1・2レーン)の張替、北門・南門の改修は行えないのか。

町長

全てのレーンの改修が必要であり、近隣の類似施設の調査をし、検討しています。

教育長

北門、南門は、大会運営等に支障がないよう、修繕等により対応します。

常任委員会事務調査

議会常任委員会の所管事務調査は、総務文教常任委員会(木原秀男委員長)が平成29年11月16日(木)・17日(金)に、産業厚生常任委員会(古川文雄委員長)が平成29年11月14日(火)・15日(水)にそれぞれ実施しました。

総務文教委員会

総務文教常任委員会の事務調査は、宮城県大崎市の「体育施設等の管理運営」と松島町の「防災センター設置及び管理運営」について視察調査を実施しました。



市民プールアクア・パルにて説明を受ける



石田沢防災センター内を視察

大崎市では、市民プールアクア・パルの施設調査を実施しましたが、平成7年供用され、現在は指定管理者により管理運営されています。この温水プールは単独施設ではなく、スポーツジム等との複合施設となっております。一年中楽しむことができます。利用者は市民が9割で立地場所も市の中心地にあり、市民の憩いの場となっております。我が町も設置場所を含め複合事業に取り組み必要性を感じました。

松島町では、石田沢防災センターの施設調査を実施しましたが、広々とした駐車場を備えた木造平建てで一見して町の駅でありました。国の100%補助率の震災関連事業を活用しています。年間一千万円程度の維持管理経費や

道の駅などへの目的外使用が今後の課題となっております。我が町の同施設設置に関し大いに参考となりました。

産業厚生委員会

産業厚生常任委員会の事務調査は、栃木県小山町のまちの駅「思季彩館」と埼玉県鳩山町の「地域包括ケアアシステム」について視察調査を実施しました。

小山町まちの駅では小山町駅前設置され地元産の商品や農作物の販売及び観光情報案内所も兼ねており、中心市街地の活性化の拠点として運営されていました。年10回



思季彩館での地元産品の販売



地域包括ケアセンターを視察

程度のイベントを開催し集客を図るなど、大いに参考にになりました。

鳩山町の地域包括ケアシステムについては、現在の人口一万四千人、20年間で20%強の減少にあり高齢化率36.4%(埼玉県1位)に対し、介護認定率7.6%(埼玉県2位)とあり、週一回の健康づくりの催しには150、200名の参加人数があり、町民の健康に対する意識の高さを感じられました。施設については小学校跡地を利活用し、特老・医療施設や通所介護施設を配備した複合型施設を同敷地に設置するという先を見据えた事業でした。

岩瀬地方議員協議会 語り部ボランティア。6次産業化研修

鏡石町と天栄村で構成する岩瀬地方町村協議会議員協議会(天栄村・廣瀬和吉議長が会長)視察研修は11月8日(水)・9日(木)の2日間、宮城県の南三陸町と登米市において実施しました。

南三陸町では「震災を風化させないための語り部バス」、登米市では「6次産業化の取り組み」について研修しました。特に、南三陸町でのボランティアガイドがバスに乗り込み被災した施設等を廻りながら、写真パネルを使って当時の大津波浸水による壊滅的な被災状況の説明は、参加した全議員が実感できるものでした。



語り部から被災状況の説明を受ける